

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家		
管理者名	にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体	指定期間	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
担当課	文化スポーツ部文化政策課		
所在地	新潟市マンガ・アニメ情報館：新潟市中央区八千代2丁目5番7号 万代シテイ・BP2 1階 新潟市マンガの家：新潟市中央区古町通6番町971番地7		
根拠法令			
設置条例	新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家条例		
施設概要	<p>【新潟市マンガ・アニメ情報館】                      建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建て                      専有面積：914.47㎡                      施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、ミニシアター、交流体験スペース・閲覧コーナー</p> <p>【新潟市マンガの家】                      建築構造：鉄筋コンクリート造陸屋根8階建て                      延床面積：349.07㎡                      施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、交流体験スペース・閲覧コーナー</p>		

施設設置目的
新潟のマンガ文化及びアニメーション文化を次世代に継承し、及び発展させることにより、市民の文化活動の振興に資するとともに、これらの文化を市内外に発信することにより、本市の観光交流の推進及び地域の活性化を図ることを目的とする。

管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1 基本理念</p> <p>(1) マンガ・アニメを本市文化施策の主要な柱に位置づけ、市民の誇りとなるよう、その継承と発展に努める。</p> <p>(2) マンガ・アニメとゆかりの深い本市の特性を活かした取り組みを進め、国内外に発信し、多様な交流を促すことで地域の活性化を実現する。</p> <p>2 展開の方向性</p> <p>(1) 本市と強いつながりのあるマンガ・アニメ文化紹介</p> <p>(2) 市内はもとより市外や海外からの来館者、リピーター創出</p> <p>(3) マンガ・アニメの世界観を体感できる体験型の展示構成</p> <p>(4) まちなかのコンテンツと連携し、多様な交流とまちの活性化実現</p> <p>(5) 子どもたちの夢や想像力を育む事業展開</p> <p>3 実施事業</p> <p>施設の設置目的を達成するために以下の事業を行う。</p> <p>(1) マンガ・アニメに関する資料等を収集し、保存し、調査し、及び研究すること</p> <p>(2) マンガ・アニメに関する資料等の公開及び閲覧に関すること</p> <p>(3) マンガ・アニメの普及及び啓発に関すること</p> <p>(4) マンガ・アニメに関する交流及び体験活動に関すること</p> <p>(5) マンガ・アニメに関する講演会、講座等を開催すること</p> <p>4 管理運営方針</p> <p>(1) 当該業務において善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 施設の設置目的を踏まえて、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の一体的な管理によりその効果を最大限発揮させるよう、努力するものとする。</p> <p>(3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的な管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。</p> <p>(4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、入館者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すものとする。</p> <p>(5) 入館者や地元等からの要望等に対し、公の施設の管理運営の公益性に鑑み、公平・中立を是としてその運営にあたるものとする。</p>

2020年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	施設入館者数	情報館、マンガの家合わせて 年140,000人以上	・情報館 98,940人 ・マンガの家 16,841人 両館合計 115,781人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標未達成。
	企画展の実施	・情報館 年5回以上 ・マンガの家 年2回以上	・情報館 8回 ・マンガの家 3回	B	
	事業の実施	・マンガの家における制作実演参加者数 年1,000人以上 ・マンガ出張講座実施回数 年6回以上	・参加者数 1,254人 ・実施回数 4回	B	出張講座回数について、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標未達成。
	施設間の連携	情報館及びマンガの家の共通イベント等連携事業 年5回以上	連携事業 計5回	B	
	広報・PRの充実	・ホームページアクセス数 年300,000件以上 ・各種メディアへの掲出（取材含む） 年50回以上	・PV合計 309,805 ・メディア掲出 86回	A	メディア掲出が目標を大きく上回り評価できる。
	入館者の満足度	入館者アンケートで「満足」が80%以上	各項目の「満足」+「まあまあ満足」の合計 ・情報館 83.3% ・マンガの家 84.0%	A	新型コロナウイルスへの感染対策を行いながらも80%を超える満足度を果たしたことは高く評価できる。
	要望・苦情に対する回答	要望・苦情には原則5営業日以内に回答	即日対応を基本とし遂行。特に大きな問題は発生していない。	B	
	自主事業の実施	施設の設置目的に合致した自主事業の実施	当会場でしか購入できないオリジナルグッズを制作し、販売した。（※きらら展ミニ色紙及びオリジナルラベル日本酒の受注販売）	B	
財 務	運営経費の削減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	指定管理料62,857,870円に対し、支出額62,857,870円	B	
	適正な財政運営、財務管理	収支計画に基づく収入の確保及び費用の執行、収支状況の記録	収支計画に基づき適正に執行。収支状況も月次、企画展ごとに記録し管理した。	B	
業 務	事業の適正な実施	・業務仕様書等に定める事業の実施及び遵守 ・業務マニュアルの作成	業務仕様書や業務マニュアルに基づき適正に実施。	B	
	市民協働の推進、地域・関係団体等との連携	地域、関係団体等との連絡調整会議、連携イベント開催 年1回以上	B P 会議に出席。JR東日本とのタイアップ実績あり。	B	
	社会・地域への貢献	再委託する場合の市内事業者への再委託及び物品等の市内事業者（店舗）からの調達率 90%以上	市内調達率95%	B	
	安心・安全の確保	・緊急連絡網、危機管理マニュアルの作成 ・防災訓練 年2回以上実施	緊急連絡網・危機管理マニュアルを現状に合わせて加筆修正。スタッフが即座に確認できる場所に配置。防災訓練は6月と11月に実施。	B	
	コンプライアンス	コンプライアンス研修の実施 1人あたり年1回以上	企画展開始前と新規職員採用時に実施。	B	
	業務仕様書の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切に遵守している。	B	
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	法令順守を尽し問題なし。	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員業務研修の実施 1人あたり年2回以上	企画展開始前を目的に2回実施。	B	
	市内雇用への貢献	市内居住者の雇用率 80%以上	市内居住者雇用率86.7%	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

本年度はコロナ禍の影響により、入館目標に対して、下回る結果となった。

■情報館

前年度3月より新型コロナウイルスの感染が拡大していたが、4月16日に緊急事態宣言が全国に発令された。情報館は4月20日～5月17日まで新潟市の指示により休館し、ゴールデンウィーク期間の来館人数を見込めなくなった。その後5月25日に緊急事態宣言は解除されたものの、6月末まで客足は戻らなかった。

7月に入り「まんがタイムきらら展 in 新潟」が開催されると、夏休みの背景もあり来館者が大幅に増えた。9月～10月には新潟市内の小中学校の市内巡検、職場体験が実施されるようになり来館人数も伸びたものの、12月に再び新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大。GoTo事業も全国一斉に停止となり、年末には東京都において1日の感染者数が1,300人を超えた。1月になると東京都の感染者が1日で2,000人を超える日もあり、関東1都3県で再び緊急事態宣言が発出された。新潟市では新潟県独自の警戒警報が継続されていた程度ではあったが、突風と大雪でJR在来線が運休するなど新型コロナウイルスの影響以外の要因もあり、同時期に開催していた「犬夜叉-アニメの軌跡展-」「テニスの王子様 大原画展」の来館数は伸び悩んだ。

2月より開催した『TVアニメ「鬼滅の刃」全集中展』では予想をはるかに上回る来館数があったが、年度初めの落ち込みをカバーしきれず結果として1年を通して目標を下回る結果となった。

■マンガの家

上記の情報館と状況は同じだが、全国的にカラオケボックスやマンガ喫茶などの狭い空間に長時間滞在する業態が避けられる雰囲気醸成され、マンガの家はその影響をかなり受けたものと推察する。

首都圏を主とする県外からの来館者も多い中、感染予防の徹底を行い、安全性と誘客のバランスを図ることで感染事例を出すことなく、「2館の来館目標数達成率83%」の実績は見劣りする結果ではないと自負している。

所管課による総合評価（所見）

現地調査日：令和 3年 2月 16日

入館者が目標に至らなかった一因として、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、国および当市のガイドラインに沿って入館人数の制限を行いながら、安心・安全な対応を行ったことがあげられる。

このような状況においても、十分な感染対策を行いながら企画展や講座を実施し、80%を超える入館者の満足度を得た点は、高く評価できる。

また、メディア掲出については、当施設を周知してもらい、入館者数を増加させるために非常に効果的であるので、今後も積極的な掲出を行ってほしい。